

特定非営利活動法人

# 建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

## 第 18 期通常総会資料

### 【1】法人の概要

### 【2】議事資料

第 1 号議案「第 18 期事業報告及び収支決算に関する事項」

第 2 号議案「第 19 期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

第 3 号議案「役員の変更に関する事項」

### 【3】報告事項

日 時：2022 年 5 月 26 日（木）13:30～

場 所：TKP 新橋カンファレンスセンター

（同時 Web 配信）



特定非営利活動法人  
建築設備コミッショニング協会

## 【1】法人の概要

名称：特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会  
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日  
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日  
法人登記完了 : 2004年8月25日  
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日  
事務所登記変更  
従たる事務所設置  
東京 : 2007年6月26日  
京都 : 2007年6月26日  
主たる事務所移転 : 2007年6月28日  
従たる事務所移転  
兵庫 : 2010年5月19日  
主たる事務所移転 : 2013年5月15日  
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日  
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

### 役員

理事長 吉田治典  
副理事長 赤司泰義、柳原隆司  
理事 伊藤英明、大石晶彦、上谷勝洋、小林陽一、澤地孝男、  
田井公浩、田上賢一、西山満、松下直幹  
監事 高瀬知章、高橋直樹

### 会員数(2022年3月31日現在)

個人正会員 215名  
賛助会員 38団体 (内 大学 6校)、特別会員6名

### 委員会組織

- ・企画・運営委員会：協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、  
広報活動、会員増強
- ・認証検討委員会及び資格判定委員会：認証制度検討、資格制度検討、資格研修会・講習会運営、  
資格認定、資格登録
- ・事業委員会：研究調査、先導的Cx事業受託、Cx費用ガイドライン検討
- ・技術委員会：技術支援、Cxプロセス・ツール研究

## 賛助会員一覧 (2022年3月31日現在)

### 財団法人

ヒートポンプ・蓄熱センター

### 企業

アズビル、エネゲート、エム・ティー・ディー、大阪ガス、大林組、関西電力、  
関電エネルギーソリューション、九電工、きんでん、きんでんスピネット、三機工業、  
三建設備工業、三晃空調、JR 東日本ビルテック、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、  
ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、中部電カミライズ、東京ガス、  
東京電力エナジーパートナー、東京都市サービス、日建設計総合研究所、日本設計、  
日本ファシリティ・ソリューション、三菱重工サーマルシステムズ、三菱地所設計、森村設計  
(五十音順)

### 大学

京都大学、東京大学、名古屋大学、中部大学、立命館大学、神戸大学(入会順)

### 官公庁

神奈川県立近代美術館

## 【2】議事資料

### 第1号議案「第18期事業報告及び収支決算に関する事項」

2021年度事業報告（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

#### 1. 事業の成果

人材育成事業については、CxPE（性能検証技術者）資格研修会を東京で開催し受講者8名全員が資格試験に合格した。この方々を含め、現在、CxPE登録者の総計は107人となった。CxTE（性能検証専門技術者）講習会は東京をベースにWEB開催し計15名が受講した。該当者にはCxTEの講習修了証を授与した。CxTEの技術者登録制度には現在60名が登録している。また、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター（IBECs・旧IBEC）との共催で、機能性能試験方法1（FPT1）を適用した変流量二次ポンプシステムの設計・試験方法に関する講習会を開催した。なお、Cxを業務として実施する組織（CxF: Commissioning Firm）の登録は現在8社で、昨年度と同じである。

性能検証普及事業としては、Cxの技術と事業展開についての情報を共有しCxの推進と普及を通じて社会に貢献することを目的にシンポジウムを開催した。2021年5月には、日本、中国、香港の研究者・実務者が参加する、「Asia-Pacific Building Commissioning Symposium：アジア太平洋ビルCx国際シンポジウム（東京）」を当協会が主催となってWEB開催した。国内シンポジウムとしては、「コミッションングの推進を目指して－2021年度BSCAシンポジウムin関西（関西）、「BSCACx事例シンポジウムin中部－2050年カーボンニュートラルの実現に向けた低炭素化社会を目指すには」（中部）、「BSCACx事例シンポジウムin東京－カーボンニュートラルに向けた取り組みとコミッションングの推進を目指して」（東京）、3つのCx事例発表シンポジウムをWEBも併用して開催した。また、CxPE資格者の今後の活躍のあり方について意見交換するために、CxPE座談会を東京・大阪2ヶ所で開催し、議論の内容を本会のレターに掲載した。民間の建築オーナー団体に対してカーボンニュートラルにはCxプロセスが有効であることを薦め、Cxのプロセスや技術に関する普及のための発信を行った。コミッションングレターの発刊など、例年通りの広報活動も実施した。

調査研究及び技術支援事業については、2022年1月にAPEC（Asia Pacific Economic Cooperation）の傘下で香港政府が開催したCxのワークショップ（WEB開催）に参画し、当協会の活動内容と日本のCx事例について発表した。香港、日本、中国、タイ、シンガポール、インドネシアなどが参加し、建築物の脱炭素化に向けて、今後、ますます重要になる既存ビルのCxにフォーカスして議論が行われた。また、他団体との協働による成果として、変流量二次ポンプシステム（VWVシステム）に関する省エネルギー設計・施工・調整・試験方法に関する技術解説書をまとめ、前記したように、この成果を一般財団法人住宅・建築SDGs推進センターとの共催講習会の教材として用いた。

基準の制定及び検証事業については、2016年度に当協会が発刊した「建築設備コミッションングマニュアル」の改訂を新体制の委員会を結成して行うと共に、中堅・若手に向けてコミッションングマニュアル編纂作業の継承を図った。当協会に特命依頼があったCx業務を先導的Cx業務として受託し、それらの活動成果やノウハウをCxに関わる人材育成や実務資料の集成に反映し、学会やシンポジウムなどで公開した。

昨年度と同様、各理事の担当業務を明確にし、事業計画を理事が中心になり立案して推進し、それを企画・運営委員会を通して実施するなどガバナンス体制をより強固にする努力をした。

共催・協賛事業では、前述のシンポジウムの共催との他に、地中熱利用促進協会主催の全国地中熱フォーラム2021を後援しCxの発展に寄与した。

事務局WGでは、引き続き事務局体制の整備を行い、事務処理を順次マニュアル化して事務作業の基盤整備と合理化を継続して進めてきたため、ほぼ課題はなくなり順調に事務作業が進むようになった。

## 2. 事業実施に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2022/1/21-22	ビジョンセンター東京有楽町	10名	8名
	b)	CxTE 講習	2021/10/22	オンライン開催	5名	15名
		CxTE(アドバンスト)講習	2021/10/26	オンライン共催	5名	—
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2021/4 ～2022/3	BSCA 事務所他	10名	—
	d)	国際シンポジウム	2021/5/22	オンライン開催	10名	—
	e)	Cx 事例シンポジウム	2021/11/26	関西 メルパルク京都 +オンライン開催	10名	64名
			2022/1/21	中部 オンライン開催	10名	72名
			2022/2/24	東京 オンライン開催	10名	77名
	f)	Cx マニュアル (CD) の頒布	2021/4 ～2022/3	BSCA 事務所	3名	30名
g)	総会付帯講演会	2021/5/28	オンライン開催	—	—	
h)	技術交流会	2021/5/28	中止	—	—	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2021/9/16	中止	—	—	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2021/4 ～2022/3	事務局	4名	約100名
	b)	ホームページの整備充実	2021/4 ～2022/3	事務局	4名	約1000名
	c)	コミッションングレターの発行	2021/4 ～2022/3	事務局	7名	—
	d)	空気調和・衛生工学会大会 ブース出展	2021/9/16 ～9/18	中止	—	—
e)	企画・運営委員会活動	2021/4 ～2022/3	BSCA 事務所他	23名	—	
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2021/4 ～2022/3	BSCA 事務所他	1名	同上
	b)	技術委員会活動	2021/4 ～2022/3	東京	5名	建築関係者
c)	他団体との協働活動参画	2021/4 ～2022/3	東京	4名	建築関係者	

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会	2021/4 ～2022/3	Web 会議他		22 名
	b)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（実施設計フェーズ）	2021/4 ～2021/6	東京・Web 会議他		6 名
	c)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（施工フェーズ）	2022/7 ～2025/3	東京・Web 会議他		6 名
	d)	田園都市線桜新町駅コミッショニング（基本設計フェーズ）	2022/1 ～2025/5	東京・Web 会議他		6 名
e)	事業委員会活動	2021/4 ～2022/3	BSCA 事務所他	12 名		
(5) 共催・協賛事業					会員、市民、建築関係者、不特定	
他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。		2021/4 ～2022/3				

### 3. 事業の概要

#### (1) 人材育成事業

##### a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE 資格研修会を 2022 年 1 月 21 日～22 日に東京にて開催した。感染症対策を十分にとることで開催し、8 名の受講者が参加した。すべての受講者が修了試験にて合格と判定した。新規受講者 8 名が登録をして CxPE 登録者は総計 107 名となった。

##### b) CxTE（性能検証専門技術者）講習

新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンライン開催とした。

2021 年 10 月 22 日に、従来の講習会を開催し、15 名の受講者が参加して、15 名に CxTE 講習の修了証を授与した。2021 年度に新たに CxTE 登録された会員は 1 名であり、累計で 60 名となった。

また、2021 年 10 月 26 日に CxTE（アドバンスト）講習会として、一般財団法人建築環境・省エネルギー機構(IBECE)が主宰する「住宅・建築分野の省エネ・省 CO2・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会」の成果である「FPT1 法による変流量二次ポンプシステムの省エネルギー設計・調整・試験方法に関する技術解説書」の解説シンポジウムを共催した。

##### c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

###### 1) 認証検討委員会

第 12 回目となる CxPE（性能検証技術者）資格研修会を 1 月に東京で開催し、8 名が受講して、受講者全員に修了証を発行した。

第 10 回目となる CxTE（性能検証専門技術者）講習会を 10 月にオンライン開催として、受講者 15 名が受講をして、受講者全員に修了証を発行した。

###### 2) 資格判定委員会

CxPE 資格研修会で使用する試験問題を決定し、資料の作成を行なった。

研修会終了後は、CxPE 資格研修小委員会を開催し、採点を行なった。

CxPE については、2022 年 3 月に外部委員を交えた資格判定委員会を開催し、2021 年度の CxPE の合否判定を行った。

#### d) 国際シンポジウム

2021年5月22日にBSCA主催で第1回APBCx2021(Asia-Pacific Building Commissioning Symposium)をオンライン開催した。アジア・太平洋地域の国・地域が取り組んでいるCxの事例、研究、事業、制度などの情報を共有し、それぞれの商習慣に適したCxの仕組みの構築や普及につなげ、建築物の省エネルギーや脱炭素の実現に寄与することを目的として開催した。今回の共催は、China Professional Committee of Building Commissioning and Operations(中国)、Research Institute for Smart Energy, The Hong Kong Polytechnic University(香港)、School of Energy and Environment, City University of Hong Kong(香港)、HK Institution of Engineers(香港)であった。次回2023年の第2回(2年に1回開催)は中国の学協会が主催になり、BSCAは共催となる。

#### e) Cx事例シンポジウム(関西・中部・東京)

関西では、「コミッショニングの推進を目指してー2021年度BSCAシンポジウムin関西」と題して、建築設備コミッショニング協会のCxPEが携わったCxプロジェクトの発注者(建物オーナー)、CMT、設計者、運転管理者からCxの意義・効果・成果などを報告した。会場参加とWEB併用のオンライン開催として、64名(内WEB49名)の参加があった。

中部では、「BSCA Cx事例シンポジウムin中部ー2050年カーボンニュートラルの実現に向けた低炭素化社会を目指すにはー」と題して、従来のCxに加えてカーボンニュートラル実現に向けてのCxの重要性について考えた上で、中部を中心とした具体的なCx事例を紹介し、今後の建築設備Cxの普及を目指すシンポジウムを行った。WEBのみのオンライン開催として、72名の参加があった。

東京では、「BSCA Cx事例シンポジウムin東京ーカーボンニュートラルに向けた取り組みとコミッショニングの推進を目指してー」と題して、Cxの推進を目指して、カーボンニュートラルに資する取り組みを中心に、発注者(建物オーナー)、CMT、運転管理者などから、実践的な事例を発表いただき知見の共有を企画した。直前にコロナ感染者が急増したことから、WEB併用からWEBのみのオンライン開催へ変更して、77名の参加があった。

#### f) Cxマニュアル(CD)の頒布

2020年10月発行「建築設備コミッショニングマニュアル」改訂第4版の販売を継続した。

#### g) 総会付帯行事を兼ねた講演会

総会後にWEB講演会を実施した。講演は、経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課 課長補佐 鈴木 晋也氏「カーボンニュートラルに向けて」、工学院大学 建築学部 建築学科 教授 野部 達夫氏「AIとシンギュラリティの相剋」を各30分にて開催し闊達な意見交換を行った。

#### h) 技術交流会

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて開催を中止した。

#### i) Cxに関心を持つ者の集い

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みて開催を中止した。

## (2) 性能検証普及事業(企画・運営委員会)

### a) CxPE のフォーラム活動

CxPE としての現在の活動の状況、今後の活躍の方向性等を意見交換し CxPE 活動の活性化を図ることを目的とした座談会を東京・大阪2ヶ所で開催し、コミッシュングレターにて内容発信を行った(2月号から9回の掲載を予定)。加えて、2021年7月15日に協会メンバーにより「CX 技術開発」に関する懇談会(オンライン会議)を開催し、内容をレター配信した。

### b) ホームページの整備充実

一般閲覧者の増大を目指して、コンテンツの拡充並びにホームページ構成のリニューアルを行った。リニューアルに伴い一般閲覧者と会員との情報提供範囲を明確にし、会員メリットが判りやすい仕組みを構築に取り組んだ。

### c) コミッシュングレターの発行

Cx 関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッシュングレターを月1回で発行を継続した。高松電気ビル demandside マネジメント表彰、田園都市線5駅リニューアルプロジェクトの紹介など Cx 事例の発信も行った。

また、CxPE 座談会(東京、大阪)の討議概要をコミッシュングレターに掲載し会員と Cx 事業普及に対する課題提起などを行った。

### d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑みてブース出展は中止となり、オンライン技術展示会に変更となった。オンライン技術展示会用に新たにコンテンツを作成し出展した。また、協会活動内容に関するオンラインプレゼンテーションに参加した。

### e) 企画・運営委員会活動

委員会を年5回開催し、下記活動の実施内容について審議してそれぞれの活動に繋げた。

#### 1) 会員特典の整備

会員限定の情報提供(Cx 文書事例、Cx ツールなど)を検討した。

#### 2) CxTE 登録者の促進と CxF の登録の促進

Cx 事業の事例発表のシンポジウムなどで CxF 登録制度を広く紹介して登録を働きかけ賛助会員の増加を図った。

#### 3) 各種団体への Cx の普及活動

オーナーサイドへの Cx 普及活動の一環として、昨年度実施した銀座・ビルエネルギー研究会の会員に対してのプレゼン及びアンケート結果を踏まえて、「コミッシュング紹介資料(オーナー向け)」を作成した。

講習会やセミナーを企画して、Cx の普及活動を実施した。

### (3) 調査研究・技術支援事業

#### a) 海外調査・国際交流

2022年1月20～21日にAPEC (Asia Pacific Economic Cooperation) 傘下のワークショップ(オンライン)が開催され、BSCAとして参加し、日本のCx事例について発表した。ワークショップは、レトロコミッショニング(RCx)に関するAPECワークショップ兼トレーニング(APEC Workshop cum Training on Retro-commissioning (RCx))というもので、建築物の脱炭素化に向けて、今後、ますます重要になる既存ビルのCxにフォーカスして議論された。主催は香港政府、共催はAPEC member economies : 日本、シンガポール、タイ、米国、ベトナムである。香港、米国、シンガポール、中国からの17の発表があった。

#### b) 技術委員会

Cxに関する日中共同研究について中国のカウンターパートと議論した。日中共同研究の企画立案には及ばなかったが、APBCx2021(前出)の開催につながった。

#### c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所(建研)、一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構(IBECE)が企画・運営する「住宅・建築分野の省エネ・省CO<sub>2</sub>・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会(略称:初期調整委員会)」に、当委員会から、委員長として吉田理事長、他委員として3名(柳原副理事長、赤司副理事長、松下理事)が参画し、Cx手法を適用した業務用建築物の省エネルギーの新たな評価手法の検討を行っている。今年度、本委員会の成果物として、変流量二次ポンプシステム(VVWシステム)に関する省エネルギー設計・施工・調整・試験方法に関する技術解説書をまとめた。

#### (4) 基準制定・検証事業

##### a) 建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会

2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の簡易改訂の中で挙げた「Cxの普及に向けてプロセスを整理して、より適切な解説にすべき」などの意見について、次世代を担う新任の編集委員の参画を求めて改訂第4版の編集作業を行った。

##### b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（実施設計フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2021年4月～2021年6月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、松下直幹（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

工期延伸された本プロジェクトにおいて、昨年度に引き続き、田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の実施設計レビューと施工フェーズのCx業務を規定した「特記仕様書（Cx）」を作成した。また、駒沢大学駅リニューアル工事の実施設計と並行して行っている、他駅も含めた複数駅の建築設備を一元的に管理する“建築設備全駅統括監視システム（仮称）”の実施設計に向けたOPRの作成を行った。

##### c) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（施工フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022年7月～2025年3月
- 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

設計フェーズ終了後、田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の施行フェーズを開始した。「設計判断記録文書」、「特記仕様書（Cx）」について施工者も交えた関係者で確認を行い、「機能性能試験計画書」の作成や、低温吹き出しに対応する吹出口の試験方法等の検討を行った。

##### d) 田園都市線桜新町駅コミッショニング（基本設計フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022年1月～2025年5月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

田園都市線桜新町駅リニューアル工事において、東急電鉄と設計者が作成した基本設計内容の確認や、工事実施のためOPRを作成するうえで助言を行った。

##### e) 事業委員会

新たなCx関連業務の開発に向けた議論を行った。

## (5) 共催・協賛事業

### a) 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 共催

#### VWV 及び VAV 制御の省エネルギー効果に関する 新たな評価方法案に関するシンポジウム

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構(IBEC)が主宰する「住宅・建築分野の省エネ・省CO2・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会」では、空調システムは適正な設計と調整、検証のプロセス(このプロセスを本委員会では「FPT1 法」と称している)を経てはじめて想定した省エネルギーを実現できると考え、まずは VWV システムについて検討を行った。

委員会の成果である「FPT1 法による変流量二次ポンプシステムの省エネルギー設計・調整・試験方法に関する技術解説書」を IBEC のホームページから公開するにあたり、内容を解説し、参加者の皆様と意見交換を行う場として、シンポジウムが開催された。

当協会は本シンポジウムにおいて、共催で参画し、Cx プロセスの発展に寄与した。

### b) 第 2 回全国地中熱フォーラム 2021 新潟 後援

1. フォーラム 開催日 : 2021 年 10 月 19 日

開催方法: ZOOM ウェビナー

2. バーチャル展示会アクセス期間: 2021 年 10 月 15 日~10 月 22 日

当協会は本フォーラムにおいて、後援で参画し、コミッショニングレターへの掲載を行った。

## (6) 理事会

理事会を 4 回開催し、総会付議事項、空気調和衛生工学会へのコミッショニング賞の申し入れのための協議、新規プロジェクトの契約、次期役員候補等を審議し決定した。

## 4. 会計収支決算

2021年度正味財産増減計算書

建築設備コミッションング協会

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位：円)

科目	2021年度決算		2021年度予算		備考欄
	特定非営利活動		特定非営利活動事業	増減額	
<b>I 経常収益</b>					
<b>1 受取会費</b>					
入会金収入	65,000		50,000	15,000	
正会員受取会費	2,110,000		2,200,000	-90,000	
賛助会員受取会費	5,400,000		5,600,000	-200,000	
小計	7,575,000		7,850,000	-275,000	
<b>2 受取寄附金</b>					
受取寄附金	0		0	0	
小計	0		0	0	
<b>3 受取助成金等</b>					
受取民間助成金	0		0	0	
小計	0		0	0	
<b>4 事業収益</b>					
1. 人材育成事業					
CxPE研修会	540,000		560,000	-20,000	
CxTE研修会(東京・WEB)	110,000		650,000	-540,000	
CxTE研修会(大阪)	0		560,000	-560,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	141,000		0	141,000	
Cx事例シンポジウム(大阪)	75,000		720,000	-645,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0		0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	148,000		380,000	-232,000	
マニュアルの頒布	169,840		200,000	-30,160	
技術交流会	0		150,000	-150,000	
Cx 集い	0		200,000	-200,000	
小計	1,183,840		3,420,000	-2,236,160	
2. 普及事業	0		0	0	
3. 研究・支援事業	0		0	0	
技術委員会	0		65,000	-65,000	
小計	0		65,000	-65,000	
4. 基準制定事業					
東急電鉄Cx					
実施設計P	2,820,000		2,809,000	11,000	
施工P	0		0	0	
小計	2,820,000		2,809,000	11,000	
5. その他					
小計	0		0	0	
計	2,820,000		6,294,000	-3,474,000	
<b>5 その他収益</b>					
受取利息	435		1,000	-565	
雑収益	0		10,000	-10,000	
小計	435		11,000	-10,565	
<b>経常収益計</b>	<b>11,579,275</b>		<b>14,155,000</b>	<b>-2,575,725</b>	

科目	2021年度決算	2021年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
<b>II 経常費用</b>				
<b>1 事業費</b>				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	429,892	1,585,500	-1,155,608	
CxPE座談会	382,258	0		
CxTE研修会(東京ZOOM)	51,800	68,000	-16,200	
CxTE研修会(西日本)	0	390,000	-390,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	353,665	0	353,665	
Cx事例シンポジウム(関西)	366,828	590,000	-223,172	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	87,051	500,000	-412,949	
Cx事例シンポジウム(中部)	157,175	310,000	-152,825	
日中Cx共同研究	0	200,000	-200,000	
マニュアルの頒布	350	100,000	-99,650	
総会付帯講演会	45,440	60,000	-14,560	
技術交流会	0	230,000	-230,000	
Cx 集い	0	200,000	-200,000	
資格判定委員会	70,584	390,000	-319,416	
小計	1,945,043	4,623,500	-2,678,457	
2. 普及事業				
ホームページ	132,770	3,300,000	-3,167,230	HP更新費資産計上
コミッションングレターの発行	106,228	200,000	-93,772	
空気調和・衛生工学会大会ブース出展	55,000	180,000	-125,000	
CxF登録制度小委員会	0	50,000	-50,000	
企画・運営委員会及び広報担当	50,330	180,000	-129,670	
小計	344,328	3,910,000	-3,565,672	
3. 研究・支援事業				
海外調査	0	200,000	-200,000	
技術委員会	18,540	400,000	-381,460	
小計	18,540	600,000	-581,460	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx事業				
実施設計P	3,731,120	3,387,330	343,790	
施工P	2,382,460	0	2,382,460	
事業委員会	886,781	50,000	836,781	
Cx費用ガイドライン検討WG	0	0	0	
マニュアル校正	596,970	800,000	-203,030	
小計	7,597,331	4,237,330	3,360,001	
5. その他	0	100,000	-100,000	
<b>事業費計</b>	<b>9,905,242</b>	<b>13,470,830</b>	<b>-3,565,588</b>	

科目	2021年度決算		2021年度予算		備考欄
	特定非営利活動		特定非営利活動事業	増減額	
<b>2 管理費</b>					
旅費交通費	0		250,000	-250,000	
通信運搬費	452,322		357,600	94,722	
消耗品費	91,491		200,000	-108,509	
什器備品	0		200,000	-200,000	
会議費	0		200,000	-200,000	
印刷製本費	53,359		100,000	-46,641	
租税公課	266,700		400,000	-133,300	
支払手数料	51,418		60,000	-8,582	
雑給	0		0	0	
諸会費	101,375		100,000	1,375	
家賃	402,600		402,600	0	
修繕費	0		0	0	
予備費	0		0	0	
支払報酬	396,000		420,000	-24,000	
事務外注費	3,988,200		4,147,000	-158,800	
事務管理費	132,000		300,000	-168,000	
減価償却費	156,200		160,000	-3,800	
<b>管理費計</b>	<b>6,091,665</b>		<b>7,297,200</b>	<b>-1,205,535</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>15,996,907</b>		<b>20,768,030</b>	<b>-4,771,123</b>	
<b>I, II 当期経常増減額</b>	<b>-4,417,632</b>		<b>-6,613,030</b>	<b>2,195,398</b>	
<b>III 経常外収益</b>					
1 固定資産売却益	0		0	0	
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>IV 経常外費用</b>					
1 過年度損益修正損	0		0	0	
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>III, IV 当期経常外増減額</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	
税引前当期正味財産増減額	-4,417,632		-6,613,030		
法人税、住民税及び事業税	70,000		71,000		
当期正味財産増減額	-4,487,632		-6,684,030		
前期繰越正味財産額	55,048,740		55,048,740		
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>50,561,108</b>		<b>48,364,710</b>		

#### 重要な会計重要な方針

##### (1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産の減価償却方法：定率法によっております。

無形固定資産の減価償却方法：定額法によっております。

##### (2) 消費税等の処理方法

税込経理によっております。

## 2021年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2022年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		備考
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金及び預金	49,815,310		
売掛金／未収金	0		
棚卸資産	0		
貯蔵品	0		
前払費用	309,880		
仮払金	55,000		
<b>流動資産合計</b>		<b>50,180,190</b>	
<b>2 固定資産</b>			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
減価償却累計額	0		
<b>有形固定資産計</b>		<b>0</b>	
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア等	1,533,584		
<b>無形固定資産計</b>		<b>1,533,584</b>	
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		
長期前払費用	4,300		
<b>投資その他の資産計</b>		<b>184,300</b>	
<b>固定資産合計</b>		<b>1,717,884</b>	
<b>資産合計</b>			<b>51,898,074</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払費用	1,098,909		
前受会費	5,000		
預り金	233,057		
仮受金	0		
<b>流動負債合計</b>		<b>1,336,966</b>	
<b>2 固定負債</b>			
	0		
<b>固定負債合計</b>		<b>0</b>	
<b>負債合計</b>			<b>1,336,966</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		55,048,740	
<b>税引後当期正味財産増減額</b>		<b>-4,487,632</b>	
<b>正味財産合計</b>			<b>50,561,108</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>51,898,074</b>

## 2021年度 財産目録

建築設備コミッションング協会

2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金			
手元現金	0		
三菱UFJ銀行普通預金	1,683		
三菱UFJ銀行普通預金	12,087,368		
ゆうちょ銀行普通預金	3,139,836		
三井住友銀行	4,851,556		
池田泉州銀行	29,734,867		
<b>現預金計</b>	<b>49,815,310</b>		
未収金			
売掛金/未収金	0		
貯蔵品	0		
棚卸資産			
<b>未収金計</b>	<b>0</b>		
前払費用	309,880		
<b>前払費用計</b>	<b>309,880</b>		
仮払金	55,000		
<b>仮払金計</b>	<b>55,000</b>		
<b>流動資産合計</b>		<b>50,180,190</b>	
<b>2 固定資産</b>			
(1) 有形固定資産			
什器備品	0		
<b>有形固定資産計</b>	<b>0</b>		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェアなど	1,533,584		HP更新費、MATLAB
<b>無形固定資産計</b>	<b>1,533,584</b>		
(3) 投資その他の資産			
敷金	0		
保証金	180,000		ATC保証金
長期前払費用	4,300		特許登録料第3年分
<b>投資その他の資産計</b>	<b>184,300</b>		
<b>固定資産合計</b>		<b>1,717,884</b>	
<b>資産合計</b>			<b>51,898,074</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	1,098,909		HP改修費
前受会費	5,000		
預り金			
源泉所得税預り金	233,057		
仮受金	0		
<b>流動負債合計</b>		<b>1,336,966</b>	
<b>2. 固定負債</b>			
	0		
<b>固定負債合計</b>		<b>0</b>	
<b>負債合計</b>			<b>1,336,966</b>
<b>正味財産</b>			<b>50,561,108</b>

## 5. 監査報告

2021年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会の事業報告、活動予算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2022年4月20日

監 事

高瀬 知章

高橋 直樹

## 第2号議案「第19期事業計画(案)及び 予算(案)に関する事項」

2022年度事業計画案(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

### 1. 事業実施の方針

2022年度は下記の活動を計画し、会員と賛助会員組織に対してCxに関する技術やCx事業を推進するための情報提供をし、Cxを広めることにより社会に貢献する。

人材育成事業については、CxPE(性能検証技術者)資格研修会を大阪で開催する。CxTE(性能検証専門技術者)講習会はWEBを併用して開催する。また、新たな取り組みとして、建築設備を模擬的に試験できるような施設で体験型CxTE研修会の開催を模索する。Cx事例シンポジウムについては、関西、中部、東京でCx事例の発表シンポジウムを開催する。Cxでの活用を目指して開発してきた空調システムエネルギーシミュレーションツールACSES/Cx(Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning)をオープンソースとして公開するワークショップをWEB開催(会員無償)する。総会については、2年ぶりに実会合形式で行い付帯行事の講演会および技術交流会も開催予定とする。

性能検証普及事業については、当協会のホームページ構成を大幅に見直し、一般閲覧者と会員との情報提供範囲を区分し会員メリットが判りやすい仕組みを構築する。昨年同様に、CxPEとしての活動の活性化を目指して、CxPEと意見交換するCxPEによる座談会を東京・大阪2ヶ所で開催する。公共建築部門や民間の建築オーナー団体に対して、省エネルギー・省CO<sub>2</sub>にはCxプロセスが有効であることを理解して貰うため、2021年度に作成した「コミッショニング紹介資料(オーナー向け)」をビルの発注者に向けて発信する機会を模索する。コミッショニングレターの発刊は例年通り実施する。本年は、空気調和・衛生工学会大会でのコミッショニングの集いや学会ブース出展などをコロナ禍以前のように実施する。

調査研究及び技術支援事業については、Cxに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。Cxに関する国際会議(例えば、全米コミッショニング会議(NCBC)等)の開催案内や、それらの会議への参加者から報告をコミッショニングレターに掲載し、会員へ情報提供する。技術委員会活動としては、空気調和・衛生工学会のCx委員会や同小委員会と連携してCxの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し学会と連携して公開する。加えて、Cxに関する日中共同研究について中国のカウンターパートと議論し企画立案を進める。

基準の制定及び検証事業については、Cx業務の実例や経験を参考にして2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の改訂作業を本年度で完了し改訂版を発刊する。当協会に特命で依されたCx業務を先導的Cxとして受託したり調査研究委託業務を受託したりして、それらの活動成果やノウハウをCxに関わる人材育成や実務資料の集成に活かし、それらをシンポジウムなどを通じて公表してCxの推進に努める。

昨年度と同様、各理事の担当業務を明確にし、事業計画を理事が中心になり策定し、それを企画・運営委員会を通して実施するようガバナンス体制をより強固にする。

## 2. 事業実施計画に関する事項

### 特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業				会員、市民、建築関係者	
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2022/	大阪開催	10名	8名
	b)	CxTE 講習 (web)	2022/	オンライン開催	5名	15名
		CxTE 実習講習	2022/	実習開催	5名	8名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2022/4 ～2023/3	BSCA 事務所他	10名	—
	d)	Cx 事例シンポジウム	2022/12	関西 +オンライン開催	10名	60名
			2022/11	中部 +オンライン開催	10名	60名
			2023/2	東京 +オンライン開催	10名	60名
	e)	ACSES/Cx 公開ワークショップ	2022/5 ～2022/11	オンライン開催	3名	30名
	f)	Cx マニュアル (CD) の頒布	2022/4 ～2023/3	BSCA 事務所	3名	30名
g)	総会付帯講演会	2022/5/26	東京 +オンライン開催	10名	60名	
h)	技術交流会	2022/5/26	東京	10名	20名	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2022/9	—	—	—	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2022/4 ～2023/3	事務局	4名	約100名
	b)	ホームページの整備充実	2022/4 ～2022/5	事務局	4名	約1000名
	c)	コミッションングレターの発行	2022/4 ～2023/3	事務局	7名	—
	d)	空気調和・衛生工学会大会ブース出展	2022/9	—	—	—
e)	企画・運営委員会活動	2022/4 ～2023/3	BSCA 事務所他	23名	—	
(3) 調査研究・技術支	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業				会員、市民、建築関係者、不特定	
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2022/4 ～2023/3	BSCA 事務所他	1名	同上
	b)	技術委員会活動	2022/4 ～2023/3	東京	5名	建築関係者

援事業	c)	他団体との協働活動参画	2022/4 ～2023/3	東京	4名	建築関係者
事業名	事業内容		実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業					会員、市民、建築関係者、不特定
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会	2022/4 ～2023/3	Web 会議他	22名	
	b)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（施工フェーズ）	2022/7 ～2025/3	東京・Web 会議他	6名	
	c)	田園都市線桜新町駅コミッショニング（基本設計フェーズ）	2022/1 ～2022/5	東京・Web 会議他	6名	
d)	事業委員会活動	2021/4 ～2022/3	BSCA 事務所他	12名		
(5) 共催・協賛事業						会員、市民、建築関係者、不特定
他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。		2022/4 ～2023/3				

### 3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

#### (1) 人材育成事業

##### a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE（性能検証技術者）資格研修会は2022年度については、大阪での開催を検討する。

##### b) CxTE（性能検証専門技術者）講習

CxTE（性能検証専門技術者）講習会は、2021年度に引き続きオンラインによる講習を開催する。また講習で解説している内容に即した実務演習講習会を企画・計画する。

##### c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

CxPE（性能検証技術者）の資格判定委員会を実施する。

##### d) Cx 事例シンポジウム

- ・ 関西では、CxPE 資格者がビジネスとして行った Cx プロジェクト事例を紹介するシンポジウムを開催する。開催時期は2022年12月頃を予定する。
- ・ 中部では、Cx プロジェクトのスタートにおける、Cx 企画書、OPR のありかた、Cx 提案書、Cx 計画書、Cx で得られる効果について解説し、Cx の普及促進に向けてのシンポジウムを開催する。参加者は、発注者側ではオーナーサイド他、地元自治体関係者に声掛けし、実際に Cx プロセスに参加する設計者、施工者、メンテナンス会社、その他地元企業にも積極的に参加を呼び掛ける。開催時期は2022年11月～2023年1月頃を予定する。
- ・ 東京では、Cx の普及展開を目指して、実際の PJ 案件を中心に事例紹介を計画する。開催時期は2023年2月～2023年3月頃を予定する。

##### e) ACSES/Cx 公開ワークショップ

Cx に活用するという視点で開発してきた空調システムエネルギーシミュレーションツール ACSES/Cx (Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning) をオープンソースとして公開するワークショップを開催する。

**f) Cx マニュアル (CD) の頒布**

2020年10月発行「建築設備コミッショニングマニュアル」改訂第4版の販売を継続するが、改訂版第5版の発刊と販売をできるだけ早期にできるよう模索する。

**g) 総会付帯行事を兼ねた講演会**

総会後に、2年ぶりとなるリアル会合での特別講演会を実施する。講演は、関東学院大学・大塚雅之教授「これからの建築給排水衛生設備の展望と課題～ゼロ・ウォータービル (ZWB) とコンバージョンへの対応～」、東京電力ホールディングス株式会社 矢田部隆志氏「カーボンニュートラル政策において期待されるオペレーションと電化～エネルギーマネジメントと産業電化・CO<sub>2</sub>フリー水素～」を企画する。

**h) 技術交流会**

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じ、技術交流会を企画する。

**i) Cx に関心を持つ者の集い**

空気調和・衛生工学会大会に合わせ「コミッショニングに関心を持つ者の集い」を開催し、会員の技術交流と会員増強の一助とする (予定)。

## (2) 性能検証普及事業

### a) CxPE のフォーラム活動

CxPE としての現在の活動の状況、今後の活躍の方向性等を意見交換し CxPE としての活動の活性化を図ることを目的とした座談会を東京・大阪で開催する。座談会の結果はコミッシンググレターで発信する。

### b) ホームページの整備拡充

昨年度に引き続き、2022 年 5 月までに、一般閲覧者の増大を目指してコンテンツの拡充並びにホームページ構成のリニューアルを行う。リニューアルに伴い一般閲覧者と会員との情報提供範囲を明確にし、会員メリットが判りやすい仕組みを構築する。

### c) コミッシンググレターの発行

Cx 関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッシンググレターの月 1 回の発行を継続する。特別企画として CxPE 座談会（東京、大阪）の討議概要をコミッシンググレターに掲載する。

### d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会がリアル会合となることを前提にして、期間中に協会展示ブースを技術展示会場に出展し広報活動を行う。また、技術展示企業による発表会にて協会の活動内容を講演する。

### e) 企画・運営委員会活動

#### 1) 会員特典の整備

会員に限定した情報提供（Cx 文書事例、Cx ツールなど）を検討する。

#### 2) CxTE および CxF への登録の促進

Cx 事業の事例発表シンポジウムなどで CxTE および CxF の登録制度を広く紹介して登録を働きかけ、会員および賛助会員の増加を図る。

#### 3) 各種団体への Cx の普及活動

- Cx のさらなる認知度の向上を目指し、2021 年度の活動で作成した「コミッシング紹介資料（オーナー向け）」を当会のホームページに掲載し、オーナーへ直接解説したり配布したりする活動を行う。
- CxF（コミッシング事業者）が社会に定着することを目指し、各種団体に Cx 業務を実施する CxF の重要さを理解して貰うとともに、CxF の登録を増やす活動を行う。
- 公共部門や民間の建築オーナーに、カーボンニュートラル事業に Cx プロセスが有効であることを説明し、カーボンニュートラル事業の施策の策定や運用に対するアドバイスを積極的に行う。

### (3) 調査研究・技術支援事業

#### a) 海外調査・国際交流

Cxに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。

Cxに関する国際会議（例えば、全米コミッショニング会議（NCBC）等）の開催案内や、それらの会議への参加者から報告をコミッショニングレターに掲載し会員へ情報提供する。海外のCx組織（NIST、BCA、Research Institute for Smart Energy（香港）、China Professional Committee of Building Commissioning and Operations（中国）など）との連携活動を検討する。

国際エネルギー機関（IEA）の研究活動、IEA/EBC Annex81「Data-Driven Smart Building（データ駆動型スマートビルディング）」の日本委員会（委員長：東京大学・赤司泰義教授、当協会副理事長）に、当協会から委員を派遣して研究支援を図る。

#### b) 技術委員会活動

空気調和・衛生工学会のCx委員会や同小委員会と連携してCxの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。

Cxに関する日中共同研究について中国のカウンターパートと議論し、企画立案を進める。

#### c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所（建研）、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター（IBECs）が企画・運営する「住宅・建築分野の省エネ・省CO2・環境技術体系確立を目指す研究開発プロジェクト初期調整委員会（略称：初期調整委員会）」に、引き続き当協会から委員長として吉田理事長、委員として3名（柳原副理事長、赤司副理事長、松下理事）が参画し、Cx手法を適用した業務用建築物の省エネルギーの新たな評価手法の検討を行う。今年度は、本委員会で開発したVWVシステムの省エネルギーの新評価法の制度化の議論を行うとともに、VWVシステムに続き、変风量空調システム（VAVシステム）について新たに検討を行う予定である。

#### (4) 基準の制定・検証事業

##### a) 建築設備コミッシュンングマニュアル改訂委員会

2016年度に発行した「建築設備コミッシュンングマニュアル」の簡易改訂の中で挙げた「Cxの普及に向けてプロセスを整理して、より適切な解説にすべき」などの意見について、2021年の新任の編集委員に引き続き参画を求めて、改訂第4版の編集作業を継続して行う。

##### b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッシュンング（施工フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022年7月～2025年3月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

設計フェーズ終了後、田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の施行フェーズを開始した。「設計判断記録文書」、「特記仕様書（Cx）」について施工者も交えた関係者で確認を行い、「機能性能試験計画書」の作成や、低温吹き出しに対応する吹出口の試験方法等の検討を行う。

##### c) 田園都市線桜新町駅コミッシュンング（基本設計フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022年1月～2022年5月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

田園都市線桜新町駅リニューアル工事において、東急電鉄と設計者が作成した基本設計内容の確認や、工事実施のためOPRを作成するうえで助言を行う。

##### d) 事業委員会活動

新たなCx関連業務の開発に努力する。

#### (5) 共催・協賛事業

他団体への共催、後援、協賛事業によりCxの普及を目指す。

## 4. 活動予算

### 2022年度予算

建築設備コミッションング協会

2022年4月1日から2023年1月31日まで

(単位：円)

科目	2022年度予算案	2021年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
<b>I 経常収益</b>				
<b>1 受取会費</b>				
入会金収入	65,000	50,000	15,000	
正会員受取会費	2,200,000	2,200,000	0	
賛助会員受取会費	5,400,000	5,600,000	-200,000	
小計	7,665,000	7,850,000	-185,000	
<b>2 受取寄附金</b>				
受取寄附金	0	0	0	
小計	0	0	0	
<b>3 受取助成金等</b>				
受取民間助成金	0	0	0	
小計	0	0	0	
<b>4 事業収益</b>				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	560,000	560,000	0	
CxTE研修会(東京・WEB)	650,000	650,000	0	
CxTE研修会(大阪)	350,000	560,000	-210,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	550,000	720,000	-170,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	380,000	380,000	0	
マニュアルの頒布	200,000	200,000	0	
技術交流会	150,000	150,000	0	
Cx 集い	200,000	200,000	0	
小計	3,040,000	3,420,000	-380,000	
2. 普及事業	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	
技術委員会	65,000	65,000	0	
小計	65,000	65,000	0	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学駅	8,000,000	2,809,000	5,191,000	
東急電鉄Cx 桜新町駅	990,000	0	990,000	
小計	8,990,000	2,809,000	6,181,000	
5. その他				
小計	0	0	0	
計	12,095,000	6,294,000	5,801,000	
<b>5 その他収益</b>				
受取利息	1,000	1,000	0	
雑収益	10,000	10,000	0	
小計	11,000	11,000	0	
<b>経常収益計</b>	<b>19,771,000</b>	<b>14,155,000</b>	<b>5,616,000</b>	

科目	2022年度予算案	2021年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
<b>II 経常費用</b>				
<b>1 事業費</b>				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	537,000	1,585,500	-1,048,500	
CxPE座談会	240,000	0	240,000	
CxTE研修会(東京ZOOM)	680,000	68,000	612,000	
CxTE研修会(西日本)	310,000	390,000	-80,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	520,000	590,000	-70,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	500,000	-500,000	
日中Cx共同研究	0	200,000	-200,000	
Cx研究会(中部)	310,000	310,000	0	
ACSES/Cx公開ワークショップ	780,000	0	780,000	
マニュアルの頒布	100,000	100,000	0	
総会付帯講演会	60,000	60,000	0	
技術交流会	230,000	230,000	0	
Cx 集い	200,000	200,000	0	
資格判定委員会	390,000	390,000	0	
小計	4,357,000	4,623,500	-266,500	
2. 普及事業				
ホームページ	1,000,000	3,300,000	-2,300,000	
コミッションングレターの発行	300,000	200,000	100,000	
空調調和・衛生工学会大会ブース出展	180,000	180,000	0	
CxF登録制度小委員会	50,000	50,000	0	
企画・運営委員会及び広報担当	180,000	180,000	0	
小計	1,710,000	3,910,000	-2,200,000	
3. 研究・支援事業				
海外調査	200,000	200,000	0	
技術委員会	1,650,000	400,000	1,250,000	
小計	1,850,000	600,000	1,250,000	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学駅	7,888,000	3,387,330	4,500,670	
東急電鉄Cx 桜新町駅	840,000	0	840,000	
事業委員会	50,000	50,000	0	
マニュアル校正	800,000	800,000	0	
小計	9,578,000	4,237,330	5,340,670	
5. その他	0	100,000	-100,000	
<b>事業費計</b>	<b>17,495,000</b>	<b>13,470,830</b>	<b>4,024,170</b>	

科目	2022年度予算案	2021年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
<b>2 管理費</b>				
旅費交通費	150,000	250,000	-100,000	
通信運搬費	360,000	357,600	2,400	
消耗品費	100,000	200,000	-100,000	
什器備品	100,000	200,000	-100,000	
会議費	250,000	200,000	50,000	
印刷製本費	100,000	100,000	0	
租税公課	400,000	400,000	0	
支払手数料	60,000	60,000	0	
雑給	0	0	0	
諸会費	100,000	100,000	0	
家賃	402,600	402,600	0	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	420,000	420,000	0	
事務外注費	4,147,000	4,147,000	0	
事務管理費	300,000	300,000	0	
減価償却費	380,000	160,000	220,000	
<b>管理費計</b>	<b>7,269,600</b>	<b>7,297,200</b>	<b>-27,600</b>	
<b>經常費用計</b>	<b>24,764,600</b>	<b>20,768,030</b>	<b>3,996,570</b>	
<b>I, II 当期經常増減額</b>	<b>-4,993,600</b>	<b>-6,613,030</b>	<b>1,619,430</b>	
<b>III 經常外収益</b>				
1 固定資産売却益	0	0	0	
<b>經常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>IV 經常外費用</b>				
<b>經常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>III, IV 当期經常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
税引前当期正味財産増減額	-4,993,600			
法人税、住民税及び事業税	71,000			
当期正味財産増減額	-5,064,600			
前期繰越正味財産額	50,561,108			
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>45,496,508</b>	<b>0</b>		

## 第3号議案「役員の改選に関する事項」

### 1. 理事再任に関する事項

再任理事 赤司泰義君

再任理事 伊藤英明君

再任理事 大石晶彦君

再任理事 上谷勝洋君

再任理事 澤地孝男君

再任理事 田上賢一君

再任理事 西山 満 君

再任理事 松下直幹君

再任理事 柳原隆司君

再任理事 吉田治典君

以上、10名

再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の理事に再任する。

### 2. 理事の新任に関する事項

新任理事 浅利直記君

新任理事 南部博之君

以上、2名

浅利直記君の略歴

1976年生

現職 森ビル株式会社 設計部設備設計部設備設計3グループ 課長

経歴 2002年～現在 森ビル株式会社 設計業務に従事

資格 建築設備士、エネルギー管理士

南部博之君の略歴

1964年生

現職 関西電力株式会社 ソリューション本部 副本部長

経歴 1990年～現在 関西電力株式会社 技術営業業務に従事

資格 建築設備士、エネルギー管理士

### 3. 監事再任に関する事項

再任監事 高瀬知章君

再任監事 高橋直樹君

以上、2名

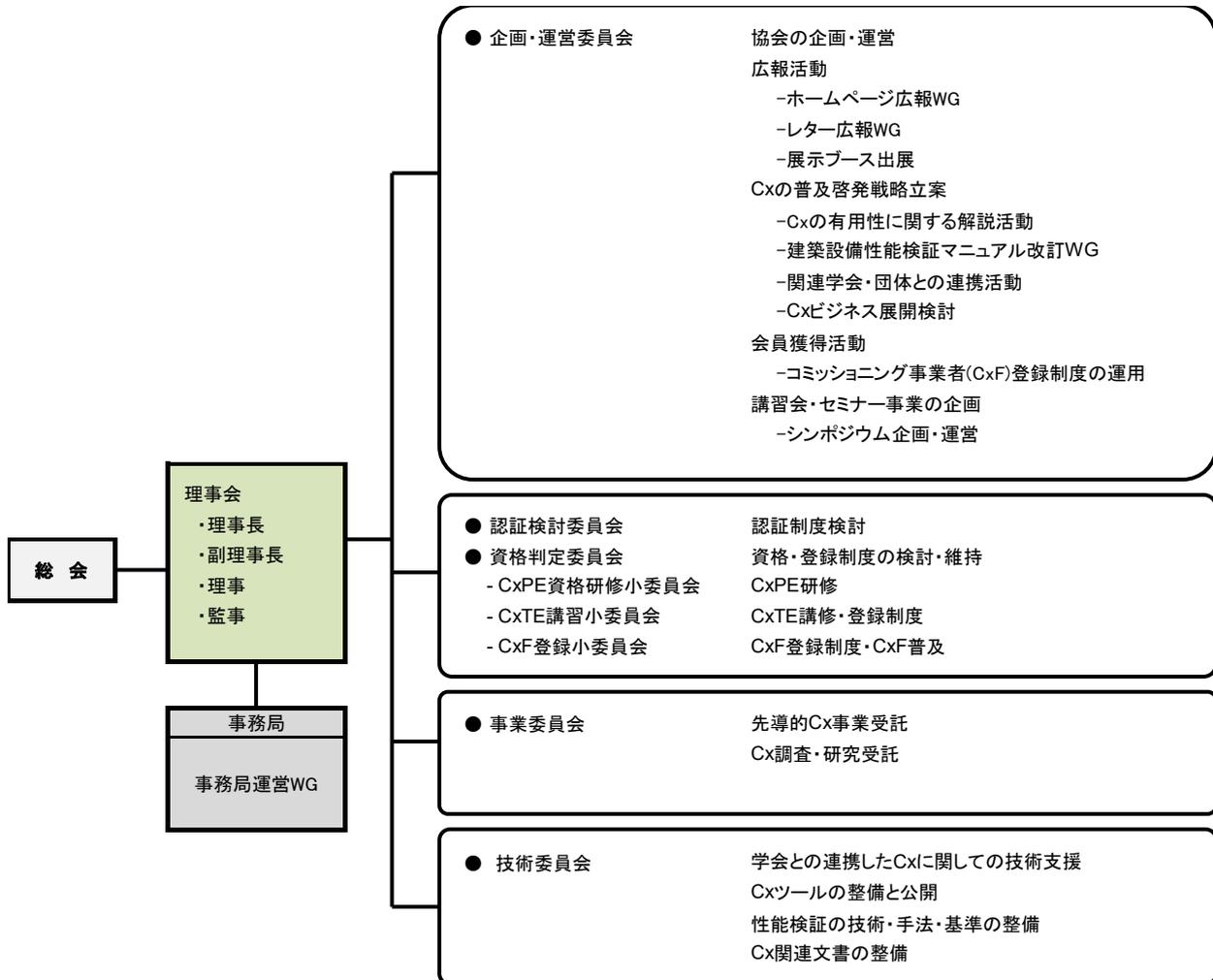
再任の理由 今期にて任期満了し、引き続き次期の監事に再任する。

### 【3】報告事項

特になし。

参考

[ 組織図 ]



**BSGA** 特定非営利活動法人  
**建築設備コミッショニング協会**  
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階  
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>